

報酬1億円以上役員最多

前期、457人 業績連動受け

報酬が高額な役員上位5人

	社名	氏名・役職	報酬額
1	ソフトバンクグループ	ニケシュ・アローラ 元副社長	103.4億円 (60%)
2	ソフトバンクグループ	ロナルド・フィッシャー 元副会長	24.2(16)
3	ソニー	マイケル・リントン 元執行役	11.4(—)
4	日産自動車	カルロス・ゴーン 会長	10.9(3)
5	武田薬品工業	クリストフ・ウェバー 社長	10.4(16)

上場企業の役員で「1億のは457人と、前期より最高となり、業績に連動して報酬を手にする役員が多。2017年3月期に1億以上の役員報酬(賞与)を受けた企業は43社増え過去最多だった。上場企業の前期決算は多く、最終的に純利益が過剰な企業も多かった。東京商工リサーチが30日、各社の有価証券報告書を基に集計した。報酬1億円以上の役員がいる企業数も221社と、過去最多だった。会社別に見ると、三菱電機(22人)が最も多く、伊藤忠商事(11人)、ファナック(10人)、パナソニック(10人)などが続いた。ソフトバンクは前期の純利益が初めて1兆円を突破。退任した副社長の報酬が100億円を超えた。

(注)東京商工リサーチ調べ、カッコ内は前年度伸び率、—は比較不能、肩書は原則前期

東京商工リサーチが30日、各社の有価証券報告書を基に集計した。報酬1億円以上の役員がいる企業数も221社と、過去最多だった。会社別に見ると、三菱電機(22人)が最も多く、伊藤忠商事(11人)、ファナック(10人)、パナソニック(10人)などが続いた。ソフトバンクは前期の純利益が初めて1兆円を突破。退任した副社長の報酬が100億円を超えた。

|| 役員報酬ランキングを電子版に▼Web刊↓紙面連動